



五中だより

令和 7 年 2 月 3 日
小平市立小平第五中学校
校長 伊藤 克行
小平市小川町 1 - 7 9 8

学校評価アンケートについて

校長 伊藤 克行

昨年 11 月 7 日(木)のスクールメールにてお知らせし、保護者の皆様に本校の教育活動に関するアンケートを実施させていただきました。たくさんの励ましの言葉やご意見を頂戴し、心より感謝申し上げます。また、質問事項にお答えいただくだけでなく、ご意見やご質問もいただきました。重ねて御礼申し上げます。

私が小平第五中学校に着任して 3 年が経ちましたが、保護者の皆様のご協力のおかげで、学校として大きな混乱はなくここまで過ごせたように感じています。昨年度より校則を改訂し、生徒自身やご家庭の判断に任せることを増やしてきました。上履きの学校指定の廃止、靴下白色限定をやめたり、標準服の夏冬の移行期間をなくし、気温に合わせて標準服を季節にかかわらず選択できるようにしたりしました。とはいえ校則として決めていることもあります。例えば、学校内で儀式と呼ばれる入学式、卒業式、始業式、終業式、他にも校外学習などは正装ということで、セーター、ワイシャツ姿ではなく、ブレザー、ネクタイ着用や、白靴下指定としています。ところが普段は自由に行っているため、意識しないと必要な場で決められた服装ができません。夏服と冬服が混在する場面もありました。私たちも迷いながら、どういう形（ルール）が良いのか考え続けています。あいまいになってしまうこともあり、混乱されることもあるかと思いますが、学校で校則として決められていることについては家庭と学校で足並みをそろえて指導できるようご協力いただきたいと思います。

なお、ご意見、ご質問について、学校としての回答をお示しさせていただきますので、ご確認ください。一つ一つの意見はとても大切です、多数決などでは測れない貴重なご意見も多くあります。しかし、回答として難しいのは、正反対の意見が挙げられている場合などです。

例えば、服装や着こなしの問題は様々なご意見が寄せられるところです。場合によっては校内の職員の意見が分かれることもあります。学校では、現状で小平第五中学校に最適と考えられる対応を決定し、決めたことをみんなで守りながら様子を見ていく、そのようなケースもあることをご理解いただけたら幸いです。今年度は励ましのお言葉などはあえて掲載していません。回答が必要な内容のみ記載いたしました。掲載した以外にも、頂戴したご意見は今後の教育活動に役立てていきます。不明な点があれば、遠慮なくお問い合わせください。また、質問項目に関する集計結果は後半に掲載いたします。

今後も、地域と共にある開かれた学校を目指して、教育活動を進めていきますので、ご理解とご協力をいただければ幸いです。よろしくお願いします。

いただいたご意見、ご質問	学校より
部活を休む時に顧問の先生に直接連絡するルールを見直してほしいです。先生に会うタイミングがないので子どもが困っています。	部活動の欠席連絡は、部活動指導の中でも大切なことの一つと考えています。毎週同じ日に休む場合の欠席連絡は顧問と確認の上省略しても構いませんが、各自の都合でお休みする場合は基本的には顧問までお知らせください。
部活のご指導の方向性がやや厳しく感じています。試合時に怒鳴っておられるのを目にしました。昭和でなく令和の今、他の部活や他校と比べてもなぜその方向性なのか、理解が難しいです。また、お話しする際に圧を感じるようで、正直に何かを話したりするのも難しいようです。我が子だけでなく他の保護者からも上記聞きましたので、今回書かせていただきました。 保護者として先生にご相談した際には親身になっていただいていますので、先生の温かさや情熱が、子に伝わっていないのはもったいない気がしています。	運動系の部活動の場合、競技の特性などもあり大きな声で注意をしたり、指示を出すことがあります。中学生になると体力的にも強くなり、フルコンタクトのスポーツでは注意を怠ると大けがにつながります。また、顧問とお話ができるようですのでごつくばらんにご相談されてみるのも一つの方法だと思います。
定期考査前の時期になると、家庭での勉強のため授業で使用している副教材等を持ち帰ってくるのですが、それぞれの科目で使用している冊子等の分量がかなりあり、鞆や手提げバッグがとても重いようです。学校から自宅まで距離があることもあり、また一人一台タブレットも貸与されておりますので、もし可能であればご配慮いただけると幸いです。 荷物が重いのがかわいそうだなと思ってます。10キロ位を背負っての登校は大人でも辛いのです、対策をお願い致します。	以前に比べ学年ごとに決めている「学校に置いていってよいもの」はかなり増えており、宿題や家庭学習で不要であれば学校ロッカーに置いていくことができます。お子様に確認してみてください。
学習について、プリントの量が非常に多く、子供達も整理管理するのが大変なのではと思います。5～10年前にも子供が在籍しておりましたが、現在はタブレットが導入されたにもかかわらず量は同じくらいあるのではと感じます。タブレットで配布管理する方がなくすこともなく、スマートではないでしょうか？また、提出物での配点の大部分がプリントが揃っていることというのもし疑問に思います。 また副教材、資料集もあるのにプリント資料が多いと、教材が活用されていないのではと疑問にも感じます。それならば学校管理で使用する方がいいのではないのでしょうか？	ICT技術はどんどん進化していますが、アナログならではの利点があることもわかってきました。例えば数学の計算をするには明らかに紙面で計算したほうがわかりやすく、身にも付きやすいです。これからはそれぞれの生徒が自分の使いやすいものを、場面に応じて使い分ける力が求められていきます。例えばプリントの管理が大変であれば生徒自身が写真に撮って保存していくといった活用もできるかもしれません。今後も様々なご意見をいただきながら、よりよい指導をしていき、生徒の力を育てていきたいと思っています。
子供たちの通学時の荷物の重さ、多さは以前から指摘されていますが、あまり解決できていないように感じます。 重いタブレットを持って帰っているのですから、英語だけでなく全教科で電子教科書を導入し、紙の教科書は常に学校に置いておけるようにしていただきたいです。 制服について、衣替えの期間を設けず、子供たちの自主的な判断に任せていただけになったことは、とても有難いです。 しかし、真夏の猛暑日にも関わらず、下着の透けを気にしてか、ベストや長袖のジャージを着用している子供たちを見かけます。 思春期の子供たちの心情に配慮し、紺色等のポロシャツやTシャツの着用を認めていただきたいです。 子供たちがより安全で安心して学校生活を送れるよう、また不要な負担が少なくなることで勉強に集中できるよう、ご検討をお願いいたします。	生徒の毎日の荷物については前述のとおりです。夏の服装については、来年すぐにはいきませんが、校内でも検討を進めています。
夏場の体育着のシャツをズボンの中に入れてはいけない指導をやめて頂きたいです。ズボンの中に入れるか入れないかで3度前後、温度が変わります。ただええ、危険な暑さの中外などで体育をしているので出来る事はやった方がいいと思います。ゴールデンウィーク前後から10月まではズボンの中に入れてもいい許可をして頂きたいです。検討していただいた中で、やらない理由があれば教えていただきたいです。	体育着のシャツを中に入れる指導は運動時にシャツがめくれて、肌着や素肌が見えることを防ぐためです。全館エアコンが配備されていますので、現状、シャツを出しての着用を認めることは考えておりません。

いただいたご意見、ご質問	学校より
風紀を乱さないようにという視点もあるのですが、学校指定が少なくなると助かります。 上履きは学年カラーだけになり、続いてセーターやベストも色指定程にしてもらえると有難いです。	セーター、ベストについても検討すべき内容と認識しています。しかしながらこれについてもすぐに廃止とすることはできませんのでご了承ください。
指定のセーター、ベストがすぐに毛玉だらけになってしまいました。毛玉がでにくいものに変えていただきたいです。	取扱業者に保護者のご意見としてお伝えします。
通級で抜けた授業の分が本人が理解できているか分からないので、フォローがあると助かります。 タブレットの破損をしたので持ち帰って欲しくない。(アプリの勉強のものはやりたいがタブレット弁償が高額なため)	特別支援教室への入室の際に、説明させていただいておりますが、通室の際の抜けた授業内容について個別のサポートは行っておりません。他の生徒と同様に各教科担当の教員に生徒自身がわからないところなどを質問いただければもちろん対応いたします。 タブレットの持ち帰りについては学級、教科等の連絡、学習課題等にも利用しているため持ち帰りを原則としています。破損を防止するタブレットケースも100円ショップなどで安価で購入できますのでご検討ください。
この間、授業公開日に来校させてもらいました。私語など多くそれで良いのか？思っていました。別件ですが校則についてですが、冬の期間はアウターの着用が許可されていますがコートのみ。それは何故ですか。普段着しづらいコートを新たに購入しなくてはいけない、その理由は髪と同じで生徒を思っていますか？家庭のことは思ってくれないのですか？校則についてもう一度考え直して頂きたいです。	参観の際に、きちんと授業を聞きたい生徒が聞くことのできないような私語の多い授業については、管理職あてで構いませんので個別にお知らせください。 アウターの範囲は広く、中学生の登下校にそぐわないものもございます。目安としては上級学校入試や、就職試験の際に制服の上に着て行けるものを想定しております。大人の世界でもノーネクタイなど慣習が広がっておりますので、今後は変化していく可能性もありますが、現状についてはご理解とご協力をいただきたいと思います。
いつもお世話になっております。 三者面談の日程調整表ですが、1ヶ月前位には配布されると助かります(職場のシフト調整に必要なため)。よろしく願いいたします。	申し訳ありませんでした。校内で共有し1か月前にはお知らせできるようにいたします。
近年性被害のニュースや事件などが多くあり、性教育について家庭でもやっていく必要があるのではないかと感じておまして本を読んだりしていますが、なかなか実行には至っておりません。 学校授業で難しいのであれば、外部の方を招いても良いと思います。 薬物よりももしかしたら性に関しての方がトラブルに巻き込ませる可能性がある気がしています。保健体育からもう少し込み入った内容での性教育をしていただきたいです。	本校では性教育について、3学年それぞれの発達段階に合わせ外部講師を招いて学年ごとに以下のような内容の講演会を行っています。 1年：多様な性のあり方について 2年：いのちの授業 3年：産婦人科医による性教育の授業 保護者の方の参観もできます。今年度は1・2年生はすでに終了していますが、3年生は3月17日に行います。ご都合がつくようでしたら、ご参観ください。
定期テストの出題ミスで2日続けて聞きました。定期テストは生徒にとって重要であると同時に、先生方にとっても重要な業務の一環であると存じます。 同じ社会人として、最低限の準備がなされないのは非常に残念であり、改善を要望いたします。	ご指摘通り、定期試験の出題ミスはなさなければなりません。そこで、定期テスト問題については、同一教科内に複数教員がいる場合は教科内教員での点検後に、管理職の点検を行っています。それでも残念ながらなかなかゼロにはできていない現状です。引き続き、出題ミスを防げるよう点検をより一層丁寧に行います。

いただいたご意見、ご質問	学校より
上履き、体育館履き、体育着等の購入が不便に感じます。直接行ってもサイズがなく、2回足を運ばないといけないですし、営業時間内に何度連絡しても出ない事が多いです。個人商店すぎて今の時代にあっているように思います。 ネット購入や年に数回学校販売の日があると良いと思います。	次年度より、体育館履き・体育着は一か所（ロイヤルスポーツ）で購入できるようになります。また、上履きは学年カラーのものであれば特に学校指定ではありません。
嫌がらせをされた子は苦しくて学校に通えずいるのに、嫌がらせをした子が反省もせずに生活しているのであれば、納得いかないと思います。相手の親御さんには学校としてどのくらい伝えているのでしょうか。嫌がらせを受けた子が伝えないでほしいと言えますが、きちんと加害者側を反省させないといけないと思います。 また、警察関与は嫌かもしれませんが、被害者を守るために、早い段階で警察に相談でいいと思います。被害者は一生苦しむのに、それを加害者もその親もちゃんとわかっていないのかなと思います。先生が親を指導するのは大変なので、警察がその親や子を指導できるシステムがあればいいと思います。 人の気持ちを全く考えられない子は、支援が必要な子もいるかもしれませんので、スクールカウンセラーとすぐに連携をとっていただけたらと思います。	学校で起きたトラブルは原則として 関わったすべてのご家庭に連絡するようにしています。ただ、学校での指導はほとんどの場合、加害と被害という扱いはしません。関わった生徒がどうしてそうしたのか、どうすればよかったのかを考えさせるようにしています。 また、いじめの疑いがある場合や、怪我や学校として状況がわかりづらいケースでは早めに警察への相談を促しています。触法行為があった場合も同様です。
パソコンが媒体となり円滑に行われることもたくさんあって良いことだと思います。しかし教科によって、また、生徒個人によっては（夏休みの例えば英語の宿題をする我が子を見て思ったことです）パソコンで記号を選んで正解すればやった気になり、スペル等反復学習をしての定着がなかなか得ることができないように見受けられます。時代にそぐわないかもしれませんが、覚えること（暗記）が大切な部分は紙媒体の学習のご指導もいただけると助かります。（親の言うことはなかなか聞きません）	コロナ禍では、ICTの活用を最優先にしていますが、本校ではアナログとデジタルのそれぞれの利点を考え、場面に応じた指導をしていけるようにしています。
部活動のことなのですが、練習試合や公式試合など、ペットボトルの持参が禁止されているのですが、ペットボトルも許可していただきたいです。特に夏は熱中症の心配もあり、スポーツドリンクとお茶を両方水筒で持参させるのは現実的ではありません。遠征帰りにペットボトルを購入することは可能なようなので、はじめから持たせることが可能ですととてもありがたいです。ゴミの問題など家庭での指導が大事だと思いますので、こちらもしっかりと指導します。ご検討、よろしくお願いいたします。	ペットボトルの扱いについては時代の変化に合わせて検討が必要なことだと認識していますが、部活動の競技によって禁止されているのが現状です。様々な学校が集まる中、会場をお借りしている運営者に迷惑をかけないようにする配慮もあります。しかしながらこのようにゴミ問題を家庭の指導ととらえてくださることは大変心強く感じます。引き続き検討させていただきます。
ある教科の授業が分かりにくいと聞いています。そのためその教科に対する興味が無くなり意欲も湧かなくなっていました。少人数指導の先生の間で授業内容に大きな差があるようなので、同じ生徒が同じ先生ばかりの授業にならないよう改善していただきたいです。 部活動で、最終下校ギリギリまで活動しており帰宅時間が遅くなる事が多いです。日の入りが早くなっているため安全面への不安もあります。やむを得ない場合を除いては、時間を守ってくださると安心です。	教科担当については生徒からの教師の授業評価も大切にするため、毎学期アンケートを行っています。しかしながら、保護者の方が課題とを感じるようなことがあるときは、遠慮せず、管理職までご相談ください。 申し訳ありませんでした。部活動終了時刻の徹底について、再度校内で確認しました。また、万が一の場合もございいますので、生徒の下校時刻が遅く心配な時は遠慮なく学校にお問い合わせください。
進路相談については、先生からどこがいい、と言えないルールだと思いますが、あまりにも情報を持ってなくて、その意味でも塾に通っていないと厳しいな、と思います。	高等学校が数多く存在する東京都での高校選びは生徒にとってもご家庭にとっても大変難しいものだと思います。ルールということではありませんが、教師や学年の主観的な見方で数多くの学校からおすめをするのも難しいことであることをご理解ください。なお、高校の調べ方のアドバイスはできますのでぜひご相談ください。

令和6年度 学校評価保護者アンケート集計結果

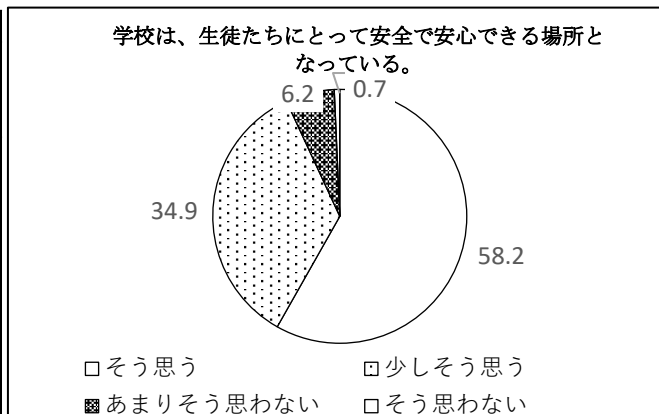
小平市立小平第五中学校

今年度、学校評価保護者アンケートへのご協力ありがとうございました。自由記述欄にて頂いたご意見につきましては、学校だより2月号にてお答えさせていただきました。今後もよりよい学校づくりに努めて参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

[単位：％]

	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
Q1	58.2	34.9	6.2	0.7

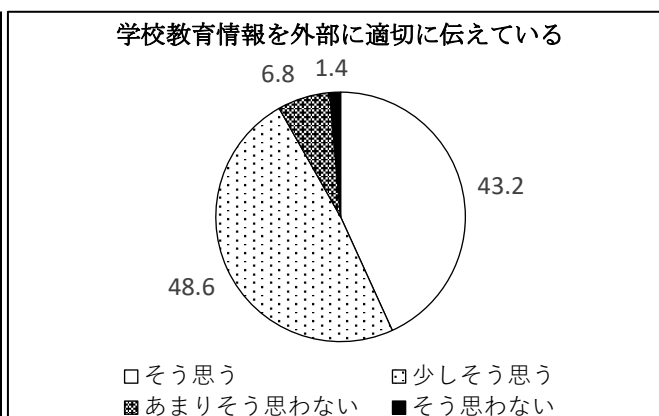
90%以上の保護者の方が肯定的な回答を寄せてくださっていることは、学校として大変ありがたいことです。しかしながら「学校が生徒たちにとって安全で安心できる場所であること」は当然のことですので、100%の評価となるよう、引き続き努力してまいります。



[単位：％]

	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
Q2	43.2	48.6	6.8	1.4

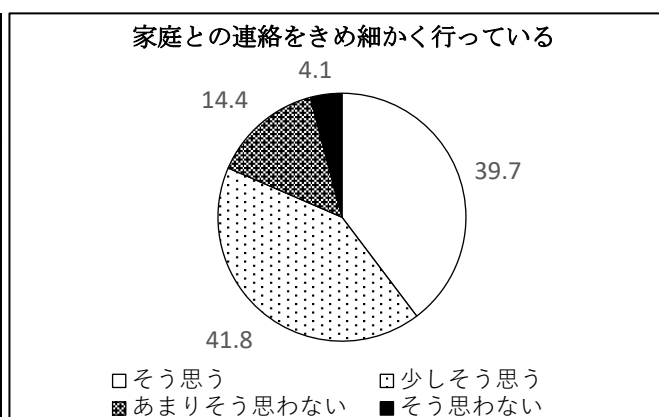
感染症罹患の際に必要な申請書や月別行事予定表などのデータを学校ホームページに掲載することで利便性を高めてきました。また、スクールメールを活用して、必要な情報を保護者の皆様にお伝えしてきました。学校日記等の更新を継続し、生徒の学校生活の様子をお伝えしていきます。



[単位：％]

	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
Q3	39.7	41.8	14.4	4.1

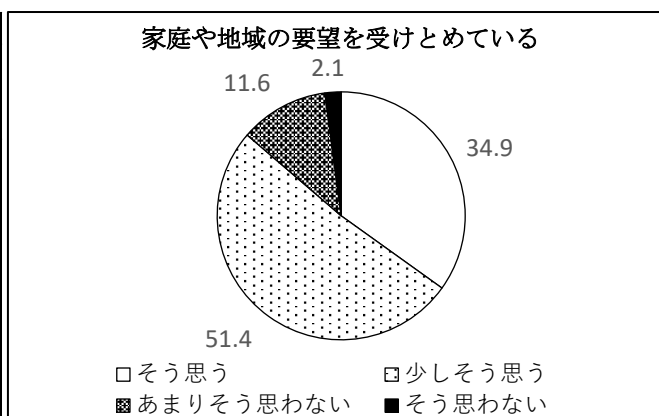
肯定的な回答が昨年度の73.9%から81.9%へと7.6ポイント増えています。引き続き小さな変化も見逃さずにご家庭と連携しながら対応できるよう、ご家庭との連絡を大切にいきます。



[単位：％]

	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
Q4	34.9	51.4	11.6	2.1

肯定的な回答が昨年度の80.3%から86.3%へと6ポイント増えています。自由記述欄などに書かれた一つ一つの意見を大切にしながら、引き続き地域に開かれた学校づくりに努めます。

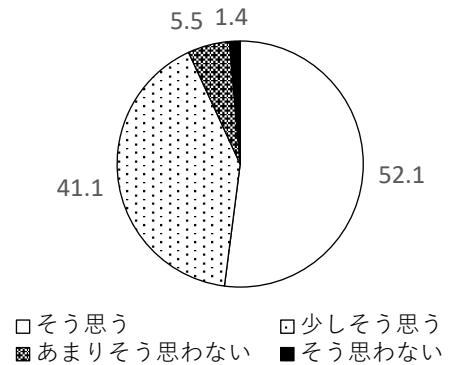


[単位：％]

Q5	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
	52.1	41.1	5.5	1.4

肯定的な回答が昨年度の88.5%から93.2%へと4.7ポイント増えています。共働き家庭が増えており、今まで以上に来校が難しくなっている近年ですが、回答が良い傾向であることを大変心強く感じます。今後もご家庭の期待に沿えるよう、より良い学校づくりに努めます。

保護者が来校しやすい雰囲気をつくっている

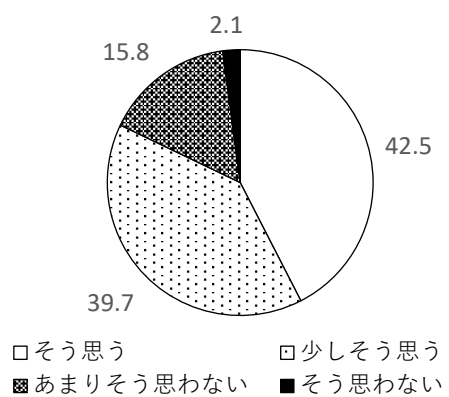


[単位：％]

Q6	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
	42.5	39.7	15.8	2.1

授業では「ねらい」と「まとめ」を確認し、単位の学習目標を明確にして授業を進めています。また放課後学習教室の開講、学習者用端末で利用できる副教材を提供し、生徒が一人一人のペースで学習を進められようとしています。まだ学習習慣が身に付いていない生徒もいるため、今後もよりご家庭との連携を強めていきたいと思ひます。

学習指導に力を入れている

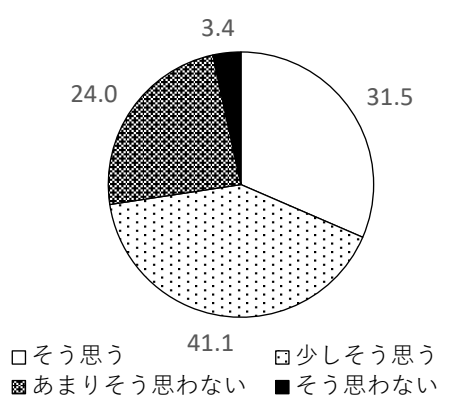


[単位：％]

Q7	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
	31.5	41.1	24.0	3.4

学習者用端末で使用している副教材は、選択肢を選択して回答すると即時に採点され、どんどん問題に取り組めるので、基礎的・基本的な学習内容の定着に効率的です。しかしながら「書く」ことを通して学ぶ方が効果的な学習内容もあるため、問題集やプリントなどの課題も併用しながら、それぞれの長所を生かして学習成果を上げていけるよう指導していきます。

学習者用端末で使える副教材は家庭学習に役立っている

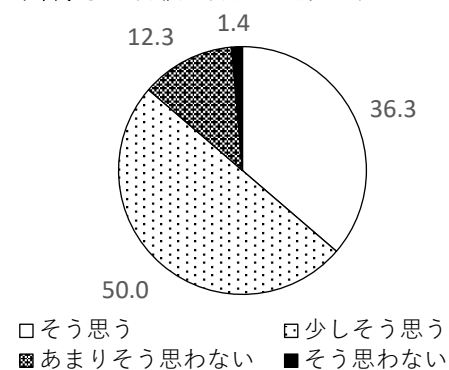


[単位：％]

Q8	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
	36.3	50.0	12.3	1.4

評価・評定の付け方については、各教科で年度初めや定期考査、学期末などに生徒へ説明しています。また学校としても全ての教科の評価・評定の付け方を確認し統一している。
各教科の特性が特に影響する部分については、教科担当が生徒に説明し、適切に評価できるようにしています。今後もご家庭で不明な点がある場合は、ご連絡をいただき担当が説明するようにしていきます。

学習状況の評価・評定を適切に行っている

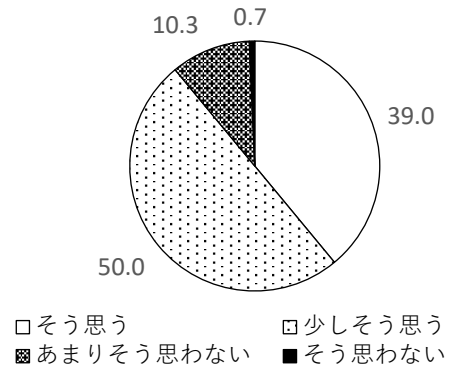


[単位：％]

	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
Q9	39.0	50.0	10.3	0.7

生活指導には「日常的な指導・課題の未然防止のための指導」と「早期発見対応・継続的な対応としての指導」あり、週1回の生活指導部会や随時の生活指導打ち合わせで「何のために指導するか」という意識を共有して組織的に対応しています。また各事案の対応には指導の一貫性をもたせ、生徒一人一人へ繰り返し粘り強く指導することで、生徒が自らの行動を振り返り、よりよい行動を考える力を育みめるように、「納得のある生活指導」を心掛けています。

生徒の生活指導に力を入れている

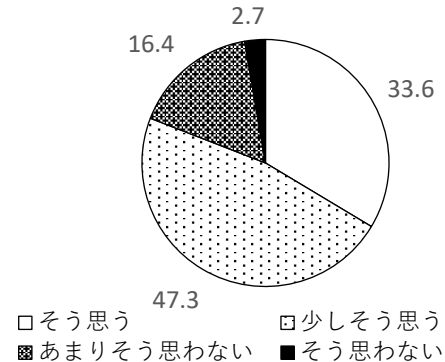


[単位：％]

	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
Q10	33.6	47.3	16.4	2.7

毎月アンケートを実施し、誰でもいつでも相談ができる環境を作り、信頼できる大人に相談できるよう生徒に声を掛けています。また学校として「いじめを絶対に許さない」というメッセージを発信し、学校全体で見守る体制をつくっています。様々な理由で学校に来ることができない生徒には、SCやSSW、関係機関と連携し、一人一人の状況に合わせて一歩ずつ登校へ向かっていくことや、居場所を見つけることができるよう継続的な支援を行っています。

いじめ・不登校対策に積極的に取り組んでいる

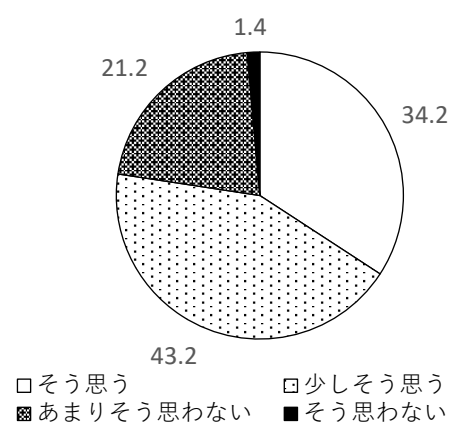


[単位：％]

	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
Q11	34.2	43.2	21.2	1.4

安全教育年間指導計画を基に、毎月の避難訓練と安全指導を計画的に実施しています。生徒や学年の実態に合わせて避難訓練の具体的な方法や事後指導を行い、課題の改善に努めています。保健指導については「特色ある教育」として、発達段階に応じた「性に関する指導」を実施しています。小平市連携事業の講師、家庭センター助産師、地域の産婦人科医等を講師に招き、1学年は「性の多様性」2学年は「いのちの授業」3学年は「ライフスキルの性教育」を実施しています。

安全指導や保健指導を適切に行っている

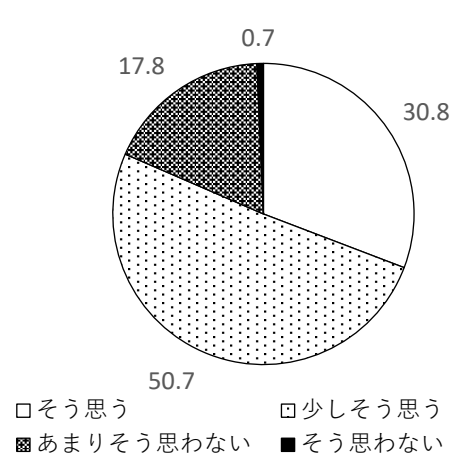


[単位：％]

	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
Q12	30.8	50.7	17.8	0.7

年間指導計画を基に、1学年の職業講話、2学年の職場体験、3学年の具体的な進路選択と段階的な指導を行い、生徒一人一人の社会的自立や自己実現をめざしたキャリア教育を行っています。また生徒が体験的に学ぶ活動や、特別活動を要として考えを交流したり、整理して深めたりする活動を取り入れ、教科等横断的に進路について考えていけるよう、努めています。ご家庭へ向けた情報発信として、進路説明会の対象を全学年に広げ、出席できなかったご家庭にもオンデマンド配信を行うなど、情報が行き届く工夫を行っています。

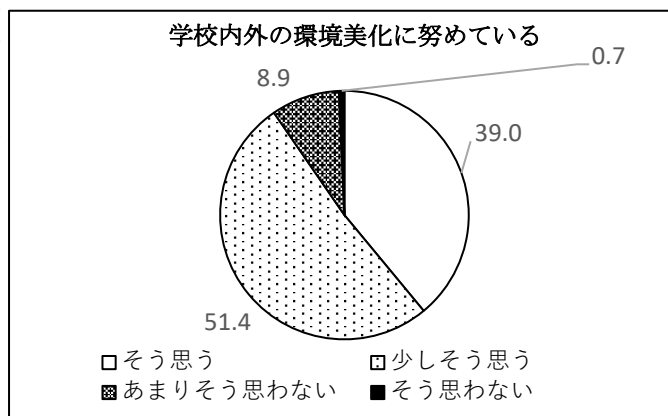
3年間を見通した進路指導を適切に行っている



[単位：％]

Q13	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
	39.0	51.4	8.9	0.7

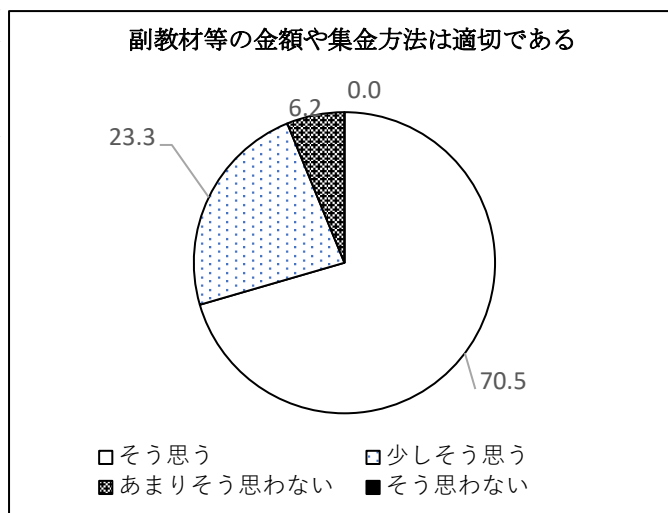
通常の清掃は毎日放課後に10分間、全ての教員が生徒と一緒に教室等の清掃を行っています。清掃後には美化委員が美化チェックを行い、学期末に美化大賞として表彰を行うことで、丁寧に清掃に取り組む意識を育んでいます。他にも毎学期末には大掃除を実施し、また毎年11月にはボランティア活動として落ち葉拾いを行っています。



[単位：％]

Q14	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
	70.5	23.3	6.2	0.0

昨年度から学習者用端末で使用する副教材を導入し、各教科の副教材と内容面で重複が少なくするように配慮しています。引き続き生徒の実態に合わせ、費用対効果を考慮し、より良い学習効果が得られる副教材を検討して選定していきます。
集金方法については給食センターと連携し、次年度も同様の方法で継続していきます。



[単位：％]

Q15	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
	70.5	23.3	6.2	0.0

運動会は「こだごサポーター」の皆様のご協力もあり、生徒が主体的に参加できる環境を作ることができました。また合唱コンクールも、昨年度の反省を生かして準備し、教員や生徒のみならず保護者や地域の皆様と「感動体験」を共有することができました。
各行事にあたっては生徒がその趣旨を理解し、本番へ向けて心を傾けて取り組めるよう、特別活動等を通じて生徒の主体性を促しています。令和7年度も生徒にとってより良い経験となるよう、今年度の反省を生かし、計画を検討しています。

